

暮らしに役立つ情報満載！

FP FPの家

住まいる ニュース

2026 3 vol.184

今の特集

『仕切らない間取り』が 叶える開放的な暮らし

家族の気配を感じる広々としたリビングや、用途を限定しない
フリースペース。壁や扉を最小限にした「仕切らない間取り」
は、今の住まいづくりの理想です。しかし、その自由な空間を
支えるのは、実は目に見えない「家の地力」なのです。

壁をなくして境界を溶かす、 新しい家族の距離感

かつての日本の家は、部屋ごとに建
具で細かく仕切り、小さなスペースを暖
めるのが一般的でした。しかし、現代の
暮らしはもっとダイナミックです。

キッチンで料理の支度を整える人、
テーブルで宿題や仕事に集中する人、
そしてソファで読書を愉しむ人。それぞ
れ別の時間を過ごしながらも、同じ空間
にいてことで緩やかに繋がっている。そ
んな「個」と「共」が両立するスタイルこ
そが、仕切りのない空間の醍醐味です。

壁をなくすことで、光は家の奥まで届
き、風が淀みなく通り抜けます。視線が
遠くまで抜けるため、実際の面積以上の
開放感を得られるのも大きなメリッ
ト。また、子どもが小さいうちは大きな
遊び場として使い、将来はライフスタイル
の変化に合わせて家具で緩やかに
仕切るといった「可変性」も、固定された
壁がないからこそ叶う贅沢です。

このような「自由な空間」は、単に広さ
を提供するだけでなく、住む人の心に
大きなゆとりを与えてくれます。例え
ば、廊下という「通路のためだけの場
所」をなくし、家じゅうをワンルームのよ
うに使うことで、生活動線は驚くほどス
ムーズになります。家事の最中も家族と

の会話が途切れず、孤独感を感じるこ
ともありません。互いの気配を程よく感
じながら過ごす時間は、家族の絆をよ
り深いものへと育ててくれるでしょう。し
かし、こうした理想のプランを検討する
際、多くの人が「広いと冬は寒いのでは」
という現実と直面し、妥協を余儀なくさ
れてきました。大空間における「温度の
ムラ」は、それほどまでに解決が難しい
課題だったのです。

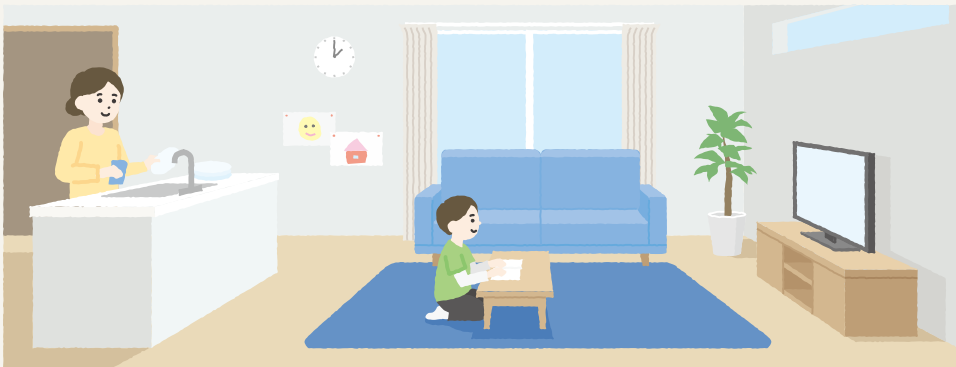
理想を現実に変える、 揺るぎない「箱」の力

この「開放感」と「快適さ」という、一見
矛盾しがちな二つを高い次元で両立さ
せるのが「FPの家」です。その秘密は、
独自開発の「FPウレタン断熱パネル」
にあります。高密度なウレタンが壁の内

側で強力な保冷・保温瓶の役割を果た
すため、広大な吹き抜けや壁のない大
空間であっても、外気温の影響をほと
んど受けません。

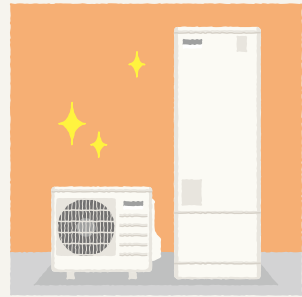
さらに、一棟ごとに実施される厳し
い気密測定により、家じゅうの隙間を
徹底的に排除。この圧倒的な気密・断
熱性能があるからこそ、わずかなエネ
ルギーでも家全体に効率よく行き渡
り、上下左右の温度差がない「春のよ
うな心地よさ」が持続します。足元から
頭上まで均一に暖まるため、冬でも薄
着でいられるほどです。構造が盤石だ
からこそ、住む人は間取りの制約から
解放され、本当に住みたかったデザイ
ンを追求できます。

仕切りのない自由な住まいは、確か
な技術という裏付けがあって初めて、
生涯続く本当の安らぎへと変わるの
です。



住まいの知恵袋

高効率給湯器



家庭で消費されるエネ
ルギーの約3割を占めるのが「給
湯」だということをご存じでしょ
うか。この大きな支出を抑える
救世主が、少ない燃料でお湯
を沸かす「高効率給湯器」で
す。主な種類には、空気の熱を

活用する「エコキュート」や、これまで捨てていた排熱を再利
用する「エコジョーズ」などがあります。これらは光熱費を大
幅に削減できるだけでなく、CO2排出量も抑えられるため、
地球に優しい暮らしを実現。また、貯湯式のタイプなら災害
時の非常用水源として活用できる点も大きな安心材料です。
2026年現在も補助金制度が継続されており、導入の追い風
となっています。家族構成や使用量に合わせた最適な一台
を選び、家計も環境も健やかな住まいを目指しましょう。

お金の豆知識

引越し

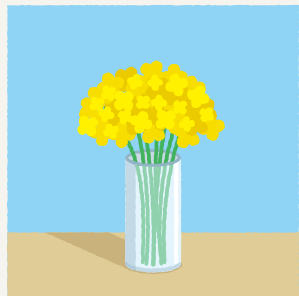


引越し費用を抑える鍵は「曜日」や「時間」だけでな
く、実は「火災保険」にもあります。旧居で契約中の保
険を解約すれば、未経過分の保険料が戻ってくる（解
約返戻金）ことをご存じですか？新居の準備に追われ
て意外と忘れがちなこの手続き。数万円戻るケースも
あるので、領収書や証券のチェックは忘れずに。

暮らしの1ポイント

菜の花

食卓に春を運ぶ菜の花。選ぶ際は、蕾が硬く閉じ、
茎の切り口が瑞々しいものを。茹でる直前に冷水につ
けると、シャキッとした食感が蘇ります。また、観賞用と
して飾るなら、少しずつ茎を切って水を替えると長く楽
しめます。黄色いビタミンカラーを暮らしに取り入れ
て、心身ともに春を迎えませんか？



できた！簡単DIY

季節を束ねるスワッグ作り



3月の街を彩るミモザ。その
鮮やかな色を長く楽しむなら
「スワッグ（壁飾り）」がおす
めです。作り方は簡単で、好み
の花や枝を数種類まとめ、麻ひ
もで縛って逆さまに吊るすだ
け。ミモザ以外にも、ユーカリや

ラベンダーなど乾いても色が残る植物なら何でも応用可能
です。組み合わせる際は、背の高いものを後ろに、低いもの
を手前に重ねると美しく仕上がります。新鮮なうちに束ねて、
直射日光を避け風通しの良い場所に飾るのが、色鮮やかに
保つ秘訣です。飾りながらドライへ変化する様子は、まさに生
きているインテリア。お気に入りのリボンを添えて、春の息吹
を家の中に迎え入れてみませんか。少しの手間で、暮らしは
ぐっと華やきますよ。

おしえて！Dr.住まいる

チョーキング現象

外壁を指で触れた際、白い粉がつく
ことはありませんか？これは「チョー
キング現象」という、塗装の防水機能が
低下したサインです。放置すると雨水
が浸入し、家の骨組みを傷める原因に
もつな갑니다。人間でいう「初期症
状」を見逃さず、早めに専門家へ相談
しましょう。家の健康寿命を延ばす第
一歩です。

